



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月11日
東

上場会社名 株式会社エコス 上場取引所
コード番号 7520 URL <https://www.eco-s.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平 邦雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員開発部・財務 経理部管掌 (氏名) 飯島 朋幸 (TEL) 042-546-3711
定時株主総会開催予定日 2025年5月22日 配当支払開始予定日 2025年5月23日
有価証券報告書提出予定日 2025年5月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日～2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	137,176	5.5	6,020	5.4	6,285	6.0	4,131	15.4
2024年2月期	130,039	5.9	5,714	30.6	5,928	31.1	3,578	122.2

(注) 包括利益 2025年2月期 4,226百万円(12.8%) 2024年2月期 3,746百万円(129.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	368.46	—	16.5	11.4	4.5
2024年2月期	320.51	320.08	16.5	11.9	4.5

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 ー百万円 2024年2月期 ー百万円

(注) 2025年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	57,703	26,864	46.6	2,395.06
2024年2月期	52,179	23,274	44.6	2,077.85

(参考) 自己資本 2025年2月期 26,864百万円 2024年2月期 23,274百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	5,266	△3,050	△1,448	13,437
2024年2月期	7,362	△3,289	△423	12,669

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	60.00	60.00	672	18.7	3.1
2025年2月期	—	0.00	—	65.00	65.00	729	17.6	2.9
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		—	

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	140,000	2.1	6,000	△0.3	6,000	△4.5	4,000	△3.2	356.75

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)株式会社コスナカムラ、除外 1社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期	11,648,917株	2024年2月期	11,648,917株
② 期末自己株式数	2025年2月期	432,404株	2024年2月期	447,880株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	11,212,212株	2024年2月期	11,165,642株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年2月期の個別業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	74,672	3.0	3,382	14.5	4,979	19.1	3,482	34.7
2024年2月期	72,485	7.0	2,954	28.3	4,181	21.5	2,584	51.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期	310.61		—					
2024年2月期	231.47		231.16					

(注) 2025年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年2月期	47,539		23,718		49.9		2,114.58	
2024年2月期	43,421		20,813		47.9		1,858.18	

(参考) 自己資本 2025年2月期 23,718百万円 2024年2月期 20,813百万円

2. 2026年2月期の個別業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	75,000	0.4	4,900	△1.6	3,400	△2.4	303.24

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
(1) 役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年3月1日～2025年2月28日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続きました。しかしながら、地政学的リスク、世界経済の不確実性等により、先行き不透明な状況が継続しています。

食品スーパーマーケット業界におきましては、人件費や原材料価格の高騰等による物価上昇の中、消費者の購買行動における生活防衛意識は依然根強く、業種・業態を超えた競争もますます激化しており、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況です。

このような外部環境の下、当社グループはこれまで通り食品スーパーマーケット事業に資源を集中し、経営方針である社は「正しい商売」を徹底し、お客様の信頼と支持を獲得するために、安全・安心でお買得な商品の提供に努め、地域のお客様の食文化に貢献できる店舗づくりに取り組んでいます。

当連結会計年度における主なトピックスは次の通りです。

①株式会社ココスナカムラの子会社化

東京都23区内に、生鮮食料品を中心とした食品スーパーマーケット7店舗とベーカリーショップ1店舗を展開する、株式会社ココスナカムラの全9株式を2024年9月1日付で取得、当第3四半期連結会計期間(2024年9月1日～2024年11月30日)より連結を開始しました。

②物流拠点「ふじみ野センター」の新設

物流業務の効率化と能力拡大の為、2024年11月に「ふじみ野センター」(埼玉県入間郡三芳町)を新設し、加工食品などのグロサリー商品の仕分け・配送業務を既存センターから移管しました。

③既存店のリニューアル強化

既存店の活性化策として計10店舗のリニューアル(改装)を行い、その効果などにより、既存店売上高の前連結会計年度比は102.9%となりました。

また、2店舗の戦略的閉鎖を進め、当連結会計年度末現在の店舗数は136店舗(前連結会計年度末と比べ6店舗増)となりました。

当社グループの重点施策は次の通りです。

店舗運営施策	・自動発注システムの活用拡大(作業効率改善) ・従業員のマルチジョブ化推進(生産性の向上) ・SNS等による積極的な情報発信(集客の強化)
商品施策	・生鮮専門店に負けない売場づくり ・惣菜部門の品揃えアイテム数の拡大 ・自社ブランド「サスベジタブル」「ナチュラルイブ」の販売強化 ・エブリデイ・ロープライスの推進 ・冷凍食品や洋風メニューコーナーの売場拡大・品揃え拡充

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの営業収益は1,371億76百万円(前期比5.5%増)、営業利益は60億20百万円(前期比5.4%増)、経常利益は62億85百万円(前期比6.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は41億31百万円(前期比15.4%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態の概況につきましては、新たに株式会社ココスナカムラを連結子会社としたことにより、資産および負債に一定の増加が見られました。

① 資産の部

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ55億24百万円増加し、577億3百万円（前期比10.6%増）となりました。

増加要因：「現金及び預金」、「建設仮勘定」の増加

② 負債の部

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億34百万円増加し、308億39百万円（前期比6.7%増）となりました。

増加要因：「長期借入金」の増加

③ 純資産の部

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ35億90百万円増加し、268億64百万円（前期比15.4%増）となりました。

増加要因：利益剰余金の増加

減少要因：配当金の支払いに伴う利益剰余金の減少

また、当連結会計年度末における自己資本比率は、46.6%(前連結会計年度末は44.6%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フロー

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億67百万円増加（前期比6.1%増）し、134億37百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

営業活動により得た資金は、52億66百万円であり、前期比28.5%(20億95百万円)の減少となりました。これは主に売上債権の4億97百万円の増加等によるものです。

投資活動に使用した資金は、30億50百万円であり、前期比7.3%(2億39百万円)の減少となりました。これは主に、固定資産の取得による36億29百万円の支出によるものです。

財務活動に使用した資金は、14億48百万円であり、前期比241.9%(10億24百万円)の増加となりました。これは主に、借入金80億5百万円の返済及び、配当金の支払い6億71百万円等によるものです。

参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率	34.3	40.1	42.4	44.6	46.6
時価ベースの自己資本比率	41.8	47.1	43.1	48.9	37.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.0	2.0	3.5	1.6	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	97.1	88.5	64.7	267.9	88.8

(注) 1. 上記指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 自己資本比率＝自己資本／総資産

3. 時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額／総資産

4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債／営業キャッシュ・フロー

5. インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業キャッシュ・フロー／利払い

6. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

7. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、不安定な国際情勢や為替の変動の影響、商品仕入価格や光熱費をはじめとする各種コストの高騰等により、依然として厳しい経済環境が続くことが予想されます。さらに、業種・業態を超えた競争も激化しており、将来の見通しは不透明な状況にあります。

当社グループは、地域密着型の食品スーパーとして、環境や健康に配慮した暮らしの提案と、地域の食文化への貢献に取り組みます。また、地域のインフラとしての役割も果たすため、以下の重点施策を進めていきます。

重点施策		具体的な取り組み
商品施策	美味しさと品質の追求	- 低価格志向に対応しながら品質向上
		- 鮮度管理・商品管理の改善（食品ロス削減）
	環境に配慮した商品の提供	- 自社ブランド「ナチュライブ」のアイテム数拡大
		- 食品リサイクル・ループに沿い育成された農産物、自社ブランド「サスベジタブル」のアイテム数拡大
	多様化するライフスタイルへの対応	- 地域ニーズに応えた品揃え
		- エブリデイ・ロープライスの維持
店舗運営施策	接客・サービスの向上	- 笑顔でのあいさつ、従業員の身だしなみ向上
		- お客様が安心できる店舗環境の提供
	ヤングファミリー層の支持拡大	- SNSや公式アプリでお買い得・新商品情報を発信
	業務効率の改善	- 自動発注システムの活用
		- 従業員のマルチジョブ化推進

次期における当社グループの業績見通しは、次のとおりです。

(%表示は、対前期比増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	140,000	2.1	6,000	△0.3	6,000	△4.5	4,000	△3.2

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,690	13,457
売掛金	1,540	2,184
商品及び製品	3,808	4,036
原材料及び貯蔵品	38	20
未収入金	3,444	3,785
その他	660	740
貸倒引当金	△34	△240
流動資産合計	22,149	23,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,883	27,737
減価償却累計額	△15,993	△17,361
建物及び構築物（純額）	9,890	10,375
工具、器具及び備品	9,865	10,787
減価償却累計額	△8,074	△8,806
工具、器具及び備品（純額）	1,790	1,980
土地	9,144	9,871
建設仮勘定	195	1,039
その他	54	48
減価償却累計額	△35	△38
その他（純額）	19	10
有形固定資産合計	21,039	23,278
無形固定資産		
のれん	—	498
その他	853	907
無形固定資産合計	853	1,406
投資その他の資産		
投資有価証券	425	527
退職給付に係る資産	86	294
敷金及び保証金	5,437	5,595
繰延税金資産	1,833	1,923
その他	504	864
貸倒引当金	△150	△171
投資その他の資産合計	8,137	9,035
固定資産合計	30,030	33,719
資産合計	52,179	57,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,130	8,166
1年内返済予定の長期借入金	5,148	5,513
未払法人税等	1,022	1,406
賞与引当金	621	707
役員賞与引当金	118	128
契約負債	1,565	1,514
その他	3,810	3,807
流動負債合計	20,417	21,245
固定負債		
長期借入金	6,648	7,235
退職給付に係る負債	438	770
資産除去債務	251	253
繰延税金負債	226	314
再評価に係る繰延税金負債	43	43
その他	878	976
固定負債合計	8,488	9,594
負債合計	28,905	30,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,318	3,318
資本剰余金	3,591	3,598
利益剰余金	18,241	21,671
自己株式	△837	△809
株主資本合計	24,313	27,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	200
土地再評価差額金	△1,318	△1,289
退職給付に係る調整累計額	154	173
その他の包括利益累計額合計	△1,039	△914
純資産合計	23,274	26,864
負債純資産合計	52,179	57,703

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	126,377	133,521
売上原価	92,838	97,454
売上総利益	33,539	36,067
営業収入	3,661	3,654
営業総利益	37,201	39,722
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,141	1,158
消耗品費	705	785
貸倒引当金繰入額	16	206
給料及び手当	14,622	15,706
賞与引当金繰入額	575	657
役員賞与引当金繰入額	114	124
退職給付費用	196	171
のれん償却額	—	55
福利厚生費	2,445	2,598
減価償却費	1,621	1,807
賃借料	4,232	4,276
水道光熱費	2,878	3,054
店舗管理費	971	978
その他	1,963	2,120
販売費及び一般管理費合計	31,487	33,702
営業利益	5,714	6,020
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	9	8
資材売却による収入	176	195
その他	51	132
営業外収益合計	258	359
営業外費用		
支払利息	28	58
コミットメントフィー	13	—
その他	2	35
営業外費用合計	44	94
経常利益	5,928	6,285

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
特別利益		
固定資産売却益	10	3
投資有価証券売却益	30	—
テナント退店違約金収入	1	—
特別利益合計	42	3
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	100	87
減損損失	542	180
店舗閉鎖損失	30	22
投資有価証券売却損	38	—
特別損失合計	711	292
税金等調整前当期純利益	5,258	5,996
法人税、住民税及び事業税	1,562	2,021
法人税等調整額	117	△155
法人税等合計	1,680	1,865
当期純利益	3,578	4,131
親会社株主に帰属する当期純利益	3,578	4,131

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益	3,578	4,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	76
退職給付に係る調整額	117	19
その他の包括利益合計	167	95
包括利益	3,746	4,226
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,746	4,226

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,318	3,591	15,303	△946	21,267	74	△1,318	36	△1,207	5	20,065
当期変動額											
剰余金の配当			△612		△612						△612
親会社株主に帰属する当期純利益			3,578		3,578						3,578
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分		△27		108	80						80
自己株式処分差損の振替		27	△27		—						—
土地再評価差額金の取崩					—						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						50	—	117	167	△5	162
当期変動額合計	—	—	2,938	108	3,046	50	—	117	167	△5	3,208
当期末残高	3,318	3,591	18,241	△837	24,313	124	△1,318	154	△1,039	—	23,274

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,318	3,591	18,241	△837	24,313	124	△1,318	154	△1,039	—	23,274
当期変動額											
剰余金の配当			△672		△672						△672
親会社株主に帰属する当期純利益			4,131		4,131						4,131
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分		6		29	36						36
自己株式処分差損の振替					—						—
土地再評価差額金の取崩			△29		△29		29		29		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						76	—	19	95	—	95
当期変動額合計	—	6	3,429	28	3,465	76	29	19	124	—	3,590
当期末残高	3,318	3,598	21,671	△809	27,779	200	△1,289	173	△914	—	26,864

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,258	5,996
減価償却費	1,704	1,875
減損損失	542	180
のれん償却額	—	55
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	227
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	52
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9	9
契約負債の増減額 (△は減少)	79	△51
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18	△69
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△86	△208
受取利息及び受取配当金	△30	△32
支払利息	28	58
コミットメントフィー	13	—
店舗閉鎖損失	30	22
テナント退店違約金収入	△1	—
固定資産売却損益 (△は益)	△10	△1
固定資産除却損	100	87
投資有価証券売却損益 (△は益)	8	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△280	△497
棚卸資産の増減額 (△は増加)	101	△190
仕入債務の増減額 (△は減少)	640	△377
未払金の増減額 (△は減少)	7	△219
長期未払金の増減額 (△は減少)	△743	△59
未払消費税等の増減額 (△は減少)	484	△50
その他の資産の増減額 (△は増加)	326	35
その他の負債の増減額 (△は減少)	159	106
小計	8,301	6,951
利息及び配当金の受取額	11	15
利息の支払額	△27	△59
コミットメントフィーの支払額	△6	—
テナント退店違約金の受取額	1	—
法人税等の支払額	△950	△1,643
法人税等の還付額	32	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,362	5,266

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,665	△3,629
固定資産の売却による収入	—	12
固定資産の除却による支出	△62	△87
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	555
投資有価証券の売却による収入	616	—
敷金及び保証金の差入による支出	△286	△104
敷金及び保証金の回収による収入	89	36
その他	18	165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,289	△3,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△320
社債の償還による支出	△150	—
長期借入れによる収入	6,400	7,550
長期借入金の返済による支出	△6,095	△8,005
自己株式の売却による収入	34	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△612	△671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423	△1,448
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,648	767
現金及び現金同等物の期首残高	9,021	12,669
現金及び現金同等物の期末残高	12,669	13,437

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食料品及び日用雑貨品等の販売を主力としたスーパーマーケット事業を単一の報告セグメントとしており、その他事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、その他事業には、賃貸業、卸売業、物流事業等が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産	2,077円85銭	2,395円06銭
1株当たり当期純利益	320円51銭	368円46銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	320円08銭	—銭

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2. 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,274	26,864
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産(百万円)	23,274	26,864
普通株式の発行済株式数(株)	11,648,917	11,648,917
普通株式の自己株式数(株)	447,880	432,404
1株当たり純資産の算定に用いられた 普通株式の数(株)	11,201,037	11,216,513

(注) 3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,578	4,131
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,578	4,131
期中平均株式数(株)	11,165,642	11,212,212
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	14,967	—
(うち新株予約権)(株)	(14,967)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

<新任監査役候補>

常勤監査役 浅 賀 真 一

<退任予定監査役>

常勤監査役 酒 井 紘 一

③就任（異動）予定日

2025年5月22日